

ご挨拶

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

当財団は、皆さまのお陰をもちまして2024年度の事業活動を無事に終了いたしましたので、「Dia レポート 2024」をお届けいたします。

2024年度は地震、豪雨、森林火災など近年と比べて自然災害が多い一年となりました。改めて被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。また世界的な選挙イヤーとなり、日米を含む世界各国でトップや政権の交代が起きました。関税問題、地政学的問題等も含めグローバルな不確実性は依然として高い状態にあり、経済環境は見通し難い状況で、国民生活への影響も懸念されています。一方、パリ五輪の日本選手団やメジャーリーグでの大谷選手の活躍など明るいニュースもありました。

当財団は1993年の設立以来、民間研究機関として高齢社会における健康、経済、生きがい等に関する様々な調査・研究に取り組み、結果を広く社会に発信するとともに活動成果の普及に努めてまいりました。2024年度は、近年社会的課題となっている「仕事と介護の両立」をテーマに、シンポジウムの開催や新たに三菱リサーチモニター・プロジェクトを実施するなど、行政・学会・産業界・民間諸団体並びに高齢者の方々との連携を強め、諸課題の解決に向けて実りある調査研究を実施し、広く社会へのフィードバックに努めております。

本レポートは2024年度における当財団の活動実績をできるだけ分かりやすく皆さまにお知らせするものです。

皆さまにおかれましては、引き続き幅広いご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、財団の諸活動につきまして、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。



理事長 石塚 博昭